

# アビームコンサルティングの人的資本経営

アビームコンサルティングでは、多様な人財が生き活きとイノベーションを生み出していく組織の実現に向け、経営・事業と連動した本質的な人的資本経営に取り組んでいます。

人財マテリアリティを定義し、目指す姿に向けてKGIを設定、人事施策を実行することで、企業価値創造や社会課題の解決に貢献する「社会変革アクセラレーター」を育成します。

## 価値創出サイクルを軸とした、事業戦略に基づく人財マテリアリティを定義

人財を企業の“資本”と捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上へとつなげていく経営手法を、「人的資本経営」といいます。当社では、“事業戦略と人財戦略の連動”が人的資本経営の実現に向けたキーファクターであると捉えており、事業戦略を成功に導

くために重要な人財上の課題を整理し、「人財マテリアリティ」として定義しています。

当社が定義した4つの人財マテリアリティは、事業戦略の軸となる「価値創出サイクル」(→P.7)と密接に連動しています。マテリアリティ1「総合力の源泉となる、新たな価値

創出・変革を牽引する人財のポートフォリオ満足」は価値創出サイクルの「変革テーマ創出」に、マテリアリティ2「EA\*1/EX\*2領域におけるプロジェクト遂行体制の高効率化」は価値創出サイクルの「変革構想策定」「変革の実現」につながり、価値創出サイクルを加速・拡大させます。

同時に、人財マテリアリティは、当社のユニークネスである「精鋭力」「総合力」「共創」とも連動します(→P.9)。マテリアリティ4「多様な人財を惹きつけ質的・量的乖離を解消するブランディング」によって新たな人財を獲得し、マテリアリティ3「キャリアに夢を描き、育て、挑戦を賞賛する文化が根付き、共創が体現される組織風土作り」は、社員一人一人の「精鋭力」の育成につながります。そして、「精鋭力」

を持った個々が集結することで、プロフェッショナル集団としての「総合力」が高まり、ステークホルダーとの「共創」や社員間の「共創」も強化されます。これらの「精鋭力」「総合力」「共創」も価値創出サイクルの加速・拡大につながり、事業戦略の成功を後押しします。

こうした事業戦略と連動した人的資本経営を着実に推進するため、4つの人財マテリアリティごとに、2027年度までに達成すべき目標を“目指す姿”として明確化し、そこにたどり着くためのKGIを設定して具体的な人事施策へと落とし込んでいます。これらを当社の人的資本経営の骨格として、社会課題の解決に貢献する「社会変革アクセラレーター」を育成していきます。

\*1 EA… Enterprise Application \*2 EX… Enterprise Transformation

